

2. R5年度 学校評価活動の評価と反省

○評価の尺度

評価は、4（十分達成できている）、3（おおむね達成できている）、2（達成に努力が必要である）、1（達成できていない）の4段階の尺度を用います。

I 園経営			
☆共通理解・共同実践		評価	意見等
1	教育目標は幼児、幼稚園、地域の実態、課題に即応している	3.5	○保育者間では教育目標を理解し保育を行っているが、保護者に十分に理解されているとはいえない。 ○教育目標の周知方法の見直しを検討。
2	教育目標は職員、幼児、保護者に理解されている	3.0	
3	具体的重点実施事項を設定し取り組みを実践している	3.0	
4	教育課程に基づいて「計画・実施・評価」がなされ、次年度にいかし改善するようになっている	4.0	
☆組織づくり		評価	意見等
5	目標の達成を目指す分掌組織になっている	3.0	○全職員で協力して円滑に活動を行っている。 ○職員間でよく話し合い、こども園運営を行っている。 ○学年、学級相互の連携が取れている。
6	学年（年中・年長）・学級相互の連絡が円滑で、園全体として意欲や力を発揮できる組織になっている。	4.0	
7	職員会議で話われたことが教育活動や幼稚園運営にいかされている	4.0	
8	園務分掌の組織を確立し、各分掌が具体的に機能している	4.0	
☆危機管理体制		評価	意見等
9	安全点検は計画的に実施し、点検結果に基づいた方策が選択されて改善がなされている	4.0	○安全点検を計画的に行っていく。 ○幼児にケガが起きた時、危険な行動があった場合など、全職員で共通理解して、保育を進めている。
10	事件・災害・幼児の問題行動・園へのクレームに対し、全教職員が共通理解のもと適切な対応ができている	4.0	
☆環境整備		評価	意見等
11	教室や廊下等、幼児の活動の様子や季節に適した掲示を行い、安全面での注意喚起へも配慮した整備をしている。	4.0	○花や野菜の栽培を継続的にを行い、保育環境の改善を行えた。 ○幼児の安全を考慮した環境、遊びにつながる環境を心がけている。 ○古い園舎だが、清潔かつ使いやすいように工夫している。
12	栽培活動計画が計画的に推進されている	4.0	
13	学級園・学校園等、敷地内は美しく整備し、安全面でも配慮している	4.0	
☆施設設備・予算関係		評価	意見等
14	施設・設備は充実している	3.5	○古い園舎だが、適宜修繕と改

15	備品等の管理はきちんとされている	3.5	修を行い、保育環境の改善を行った。
16	園地・園舎の維持管理について全教職員が協力して実施している	4.0	
17	予算の編成・執行等の方法や手続きは、適正に行われている	4.0	
☆園内研修（研修）		評価	意見等
18	園内研修は、研修主題に沿って、計画的に実施している	3.5	○園内研修で学んだことを職員間で共有し、実践に活かすことができている。今後、計画的に進めるための工夫が必要。 ○お互いの保育について、情報交換し合い、共に高め合っていると感じる。 ○研究保育を行い、多面的に子どもの姿や教師の援助について学ぶことができた。
19	園内研修の成果は、日常の教育実践の場で具体的にいかされている	3.5	
20	教職員がともに高めあう研究が推進できるように、意見交換や情報交換がなされている	3.8	
21	保育研究会を通して指導力の向上が図れるようにしている	4.0	
22	教職員一人一人が自らの研究と修養に努め、活力ある教育活動を展開している	3.8	
☆情報の発信と連携（開かれた園づくり）		評価	意見等
23	幼稚園のホームページや各種の「便り」、『通知文』等で保護者や地域への情報発信を実施している	4.0	○コロナ禍でも出来る限りの交流を行った。 ○HPの更新を頻繁に行い、子どもの様子を発信した。 ○保育をより充実させられるよう、地域の人材も活用したい。
24	幼・小・中の連携を図るために、具体的な取り組みが実施されている	3.0	
25	保護者や地域との連携を密にし、幼稚園教育への理解と教育を得られるようにしている	3.5	
26	保育参観日の日程や内容は適切である	4.0	
27	地域を学習の場としたり、地域の人材を活用したりしている	4.0	
II 指導内容			
☆教育課程の編成と実施		評価	意見等
28	指導計画は適切に作成され、指導にいかされている	3.5	○保育を充実することができるよう、行事の精選をしていきたい。 ○週案等、指導計画を作成している。また反省・評価を行い、よりよい保育ができるよう努めている。 ○教育保育計画の見直しをもって保育を進めていきたい。 ○コロナ禍での教育活動の工夫は行ったが、絶対的な時間としては不十分だったといえる。
29	教育時間は適切である	3.8	
30	週行事の配置は適切である	3.5	
31	行事の精選は適切に行われ、計画的に実施されている	3.0	
32	全職員が週案を作成し、計画的に保育を実施している	3.8	
33	絵本などに親しむ為の活動が計画的に実施されている	3.2	
34	道徳性の芽生えを培うための活動の工夫がなされている	3.2	
35	体験的な遊びを重視し、教材の工夫や環境の工夫がなされている	3.8	
36	指導と評価の一体化が図れるように、計画的な評価を実施している	3.0	
☆幼児理解（指導・援助・教育相談等）		評価	意見等
37	一人一人の課題を把握し、個に応じた指導を実施している	3.5	○生活習慣の定着のための取り組みを徹底し、家庭との連携

38	時間を守る、忘れ物をしない等の園生活に関わるきまりについて、意識が高まるように指導している	3.8	も図っていきたい。 ○園に足を運ぶことが少ない保護者との連携の取り方を考えていきたい。 ○ミーティング等で園児の実態や課題を共通理解し、対応することができていると感じる。
39	進んであいさつができるように、指導の充実や取組の工夫を行っている	3.3	
40	基本的な生活習慣の定着を図るための指導をしている	3.5	
41	個人面談や日常的な相談活動を充実させている	3.5	
42	全教職員の共通理解と協働により、いじめ・不登校問題行動等の予防や対応は速やかに、適切に行っている	4.0	
☆特別支援教育		評価	意見等
43	特別支援教育コーディネーターを置き、特別支援教育の充実に努めている	4.0	○支援が必要な子について、全職員で共通理解を図り、支援にあたっている。 ○それぞれの気になる幼児の記録を取り、巡回指導に活かしている。
44	幼児の障害の状態や特性などに応じた、個別の支援計画や教育課程を編成して、教育活動を実施している	3.8	
☆預かり保育・子育て支援		評価	意見等
45	教師と預かり保育担当との連携を取りながら、預かり保育の充実を図っている	4.0	○預かり保育の職員とも日頃から話し合い、保育を進めている。 ○預かり保育担当の先生方と、密な連携が取れている。 ○預かり保育担当職員と、日々園児の様子等を話し合い、連携を図っている。
46	園庭開放や未就園児交流が行われている	3.0	
Ⅲ 健康教育の充実			
☆健康・安全・食事指導の充実		評価	意見等
47	諸検査や健康診断等を通して健康な体を知り、健康の自己管理能力が育つように、発達に応じた保健指導を実施している	3.5	○調理師や栄養士と適宜連携を取り食育を円滑に進めることが出来た。 ○避難訓練や安全指導を定期的に行っている。 ○リズムジャンプやわらべうた活動を通して心身の健康の充実に寄与することができた。
48	手洗い、うがいなどの健康管理と、好ましい集団生活を送れるよう指導している	3.5	
49	園便りや保健便りなどの家庭への配布物をとおして、保健指導を充実させるようにしている	3.0	
50	おやつや昼食等を通して、食に関する指導を行っている	4.0	
51	交通安全指導、不審者対策、水難防止等のために、 幼児の危機回避能力を高めるように指導している	3.5	